



# 議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

## 6月定例会



中学校生活そのものがコロナ禍だった私達が

# 集大成を魅せる!!

### 目次

- 2 ..... 6月定例会
- 3～10 ..... 一般質問
- 11 ..... 各常任委員会の審議
- 12 ..... 組合議会報告・陳情
- 13… 提出議案結果報告・臨時会・全員協議会
- 14… 私たち頑張っています! / 議会のうごき / 編集後記

# 6月定例会

6月定例会は、6月7日(火)から10日(金)までの4日間にわたり開かれました。審議した議案は、補正予算関係3議案、人事案件議案1件、報告5件と議員発議(発議者:石井清人議員)の「はちらぼ調査特別委員会の設置について」で、いずれも原案のとおり可決されました。

## 令和4年度 一般会計補正予算 (第2号)

歳入歳出にそれぞれ**1,731万2千円**を追加し、  
歳入歳出予算の総額を**37億5,518万8千円**としております。

### 歳入

|                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金        | 544万8千円追加 |
| ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金    | 838万9千円追加 |
| ・子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)事業費補助金 | 200万円追加   |
| ・自治総合センターコミュニティ助成金            | 110万円追加   |
| ・地域活性化センター助成金                 | 100万円追加   |
| ・地域防災組織育成助成事業費補助金             | 100万円追加   |

### 歳出

|                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| ・一般コミュニティ助成事業助成金(町内会備品購入)     | 116万3千円追加 |
| ・地域活性化センター助成事業費補助金(地域イベント助成)  | 100万円追加   |
| ・低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 | 200万円追加   |
| ・新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料         | 128万9千円追加 |
| ・予防接種委託料(子宮頸がんワクチン)           | 117万6千円追加 |
| ・消防団員年報酬                      | 109万2千円追加 |
| ・消防団防火衣購入費                    | 115万5千円追加 |

《主なもの》

## 令和4年度 国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出にそれぞれ**109万9千円**を追加し、  
歳入歳出予算の総額を**7億4,511万4千円**としております。

### 《歳出》

- ・秋田県町村電算システム共同事業組合負担金 **107万5千円追加**

## 令和4年度 上水道特別会計補正予算 (第2号)

### 《支出の主なもの》

- 収益勘定  
・消火栓撤去(廃止)工事 **39万6千円追加**

### 議員発議 はちらぼ調査特別委員会を設置

#### ○設置目的等

買い物弱者対策として、はちらぼの存続を期待しながらも、補助金脱却を目指した経営改革をしなければ町民の理解は得られないと考え、議会としても経営を調査し、改善の提言を出すことを目的に設置するものです。設置期間は11月までの約6カ月間とし、12月定例会で検討結果を報告する方針です。

#### ●検討内容

はちらぼの経営に関すること

- ・売り上げ増の提言
- ・経費減の提言
- ・補助金減の提言
- ・その他、特別委員会が特に必要と認めた事項

#### ●審査方法

閉会中の継続審査

#### ●委員(◎委員長、○副委員長)

- ◎石井清人、○小柳 聡、北嶋賢子、京極幸村、金 一義、柳田裕平

## 6月定例会 一般質問

# 7議員が町政に対し質問

6月8日の本会議において一般質問が行われ、7議員が質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。



### ◆ 質問者

#### 柳田 裕平 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、移住者受け入れ対策について

#### 北嶋 賢子 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、気候変動危機の打開について
- 2、沖縄の返還と青春
- 3、空き家の解体に助成を

#### 京極 幸村 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、ふるさと大使によるプロモーション活動の可能性は
- 2、中学校部活動のこれからは
- 3、住宅取得支援制度の導入は

#### 小柳 聡 議員 (一問一答)

- 1、リスタート元年、今後のまちづくりは
- 2、現実的になったウィズコロナ時代を迎え当町の方針は

#### 石井 清人 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、休耕地の管理について
- 2、買い物弱者対策「はちらば」をどう継続するか

#### 畠山 一充 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、湖東厚生病院の現状と今後について
  - 1) 必要医師数及び医師確保対策の成果と課題について
  - 2) 本町における運営費の推移 (平成29年度・30年度・令和元年度) 及び3町村 (五城目町・井川町・大潟村) の負担率と算出根拠について
  - 3) 公設民営化について (必要医師数確保困難な場合)
- 2、農地の集積・集約化について

#### 金 一義 議員 (一問一答)

- 1、八郎潟町脱炭素型社会構築事業について
- 2、イチゴ栽培事業における、もみ殻バイオマスボイラーの活用についての問題点は
- 3、旧小学校校舎活用における喫茶店事業について、その他の空き校舎の利用の考えは

### 一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。

また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

# 一般質問

## 「地域おこし協力隊」の導入は



柳田 裕平  
議員

### 問

2021年度に活動した地域おこし協力隊（以下地域協力隊に省略）が前年度比で541人増の6005人となり、初めて全国では6000人を超えているとの新聞報道がありました。

その一つの要因として、新型コロナウイルスの影響で地方永住への関心が高まっているとのこと。傾向として、地域協力隊員は20代と30代の若い世代が多く、任期終了後に赴任先か近くの自治体に定住したケースが多かったようです。秋田県内ですが、2021年度では前年度より20人多い101人が活動しているとなりました。また、県内25市町村のうち地域協力隊員が一人もいなかったのは、八郎潟町も含めた4市町村であったようです。秋田県東成瀬村では、村の魅力を発信する動画

作成に携わる地域協力隊員を新たに募ったところ、前年度比で10人ほど増えて村のPRに役立っていると感じました。

にかほ市では、「にかほ・子供伴走プロジェクト」を背景に子供を中心とした子育て環境を整え、地域や行政が一体となって支援する施策を実施しているとのこと、2018年からの4年間で子育て世帯が77世帯ほど転入超過したとありました。

本町としても、いろんな事例を勉強しながら決断を強いられる時かと思えますがどうでしょうか。私なりに地域協力隊について考えてみました。  
\* 教育をメインとした誘致はどうでしょうか。  
秋田県の教育、八郎潟町で子供を育てる教育姿勢を前面にアピールする。  
\* 町ぐるみの積極的PR、勧誘姿勢、東京圏情報の提供依頼の体制づくりが大切である。  
そのためには、他市町村を参考にしながら強力な地域協力隊を立ち上げること。  
\* 移住策と同時に働く場

所の確保が大きな問題である。

町に無ければ周辺町村との連携を考える。

\* 町をあげての「移住者受け入れ体制」を、内外の有識者会議等で早急に検討してまとめる必要がある。

\* 施策は散発的ではなく包括的視点に立って、役場をあげて取り組み

のできる八郎潟町版の魅力ある総合的「移住者誘致策」を策定し、他の自治体で成果をあげているように地域協力隊を活用していただきたい。

【町長】まずは地域協力隊をどの分野で募集するかが重要です。

過去には、「はちパル」や「産直センター」

に関連した分野での募集も考えたことがあります。

現段階では、明確に募集分野や計画はありません。

今後、地域協力隊の募集となれば、受け入れ体制づくりも含め教育に関連した地域協力隊も案の一つとして考えていきたいと思えます。

\* 移住を希望する方の働く場所の確保については深刻な問題となりま

す。

本町に移住を希望する方の場合は、町内外の企業や事業所になると思いますので周辺市町村との連携を考えていく必要があると思えます。

\* 全国的に人口減少が進む中、移住・定住施策

は重要であると考えています。

本町でも、支援事業の実施や促進を行ってきているところでもあります。

新たな移住・定住施策については、関東圏に向けたPRや移住促進のサイト開設といった積極的なプロモーションの推進や地域協力隊の活動を軸とした取り組みを推進する必要がありますので、町民や有識者の理解を得ながら検討して参りたいと思えます。

【再質問】町の将来見通しを考えれば、行政ができなかったことを地域協力隊と共同で取り組んで可能性のあるものに積極果敢にトライしてはどうでしょうか。

| 2021年度の地域おこし協力隊員数 |       |
|-------------------|-------|
| 秋田市               | 5 (人) |
| 鹿角市               | 3     |
| 大館市               | 13    |
| 北秋田市              | 10    |
| 能代市               | 10    |
| 男鹿市               | 5     |
| 由利本荘市             | 1     |
| にかほ市              | 9     |
| 大仙市               | 3     |
| 仙北市               | 3     |
| 横手市               | 3     |
| 湯沢市               | 2     |
| 小坂町               | 2     |
| 上小阿仁村             | 3     |
| 藤里町               | 3     |
| 八峰町               | 1     |
| 三種町               | 3     |
| 五城目町              | 2     |
| 大潟村               | 1     |
| 羽後町               | 5     |
| 東成瀬村              | 14    |
| 計                 | 101   |

# 一般質問

## 気候変動危機の打開は



北嶋 賢子  
議員

**問** 気候の変動は人類共通の関心事。安全で、クリーンで、健康的で持続可能な環境の権利は当然の事だけれども、氷河湖が溶けて橋が流されたニュースを見て、これ程までに地球の温暖化が進んでいるとは、と驚愕でした。日本でも梅雨を目前にして、経験した事のない雨は、これまでの約7倍にも増加しているといえます。気温の上昇と短時間豪雨に備えて町でも情報の伝達は瞬時に。特に馬場目川下流域の世帯の安全と避難対策は万全に。

**町長** 災害時の伝達については、防災行政無線と町広報車による巡回、呼びかけ、民間携帯4社によるエリアメール、テレビ局へのテロップ依頼をし、迅速に情報を提供し、避難する事としている。馬場目川下流域の安全と避難対策は、水防法一部改正に伴い、浸水想定地域の避難場所の情報等、ハザードマップを全戸配布している。災害時、瞬時に実施出来る様、町内会と連携した避難訓練の実施を図って参る。

### 沖縄の返還と青春

**問** 米国の大統領が東京の横田基地へと降り立ちました。今年、沖縄の返還から50年になります。高校の卒業当時は、ベトナム戦争の最中でした。めざせマッターホルン、アイガー北壁の同級生達からの寄せ書きは、戦争反対と沖縄を返せのシュプレヒコールと大合唱の渦の中に私はいました。かたや、労働組合には、わらび座の分工隊がオルグに来て歌唱指導と寸劇をやっていました。秋田県の田沢湖の近くに、まわり舞台のある劇場を創る、と言うのです。あんな秋田の山奥にどうしてそんな大きな劇場が必要なのかと、言いながらもカンパ集めをしました。

### 空家の解体に助成を

**町長** 沖縄は東アジアの各地域の近くにあり、安全上極めて重要な位置にあり、アメリカ海兵隊が駐留する事は、日本のみならず、東アジア地域の平和と安全確保に重要。沖縄県民への基地負担軽減については、首相は目に見える成果を一つ一つ着実に積み上げて行くとしている。国民全体の問題として注視していきたい。

**町長** 適正管理されずに周辺に対して危険性の高い空家等を除去する者に對し、要綱により解体費並びに解体によって生ずる廃材の運搬費等を補助し50万円を限度としている。個人財産である空家は、所有者の物であるから、解体の補助金等の見直しは考えてない。



空家

# 一般質問

## ふるさと大使による プロモーション活動の可能性は



京極 幸村  
議員

首都圏への人口の流出を防ぎ、地方を活性化するためには、まちの魅力を知ってもらおうプロモーション活動が欠かせない。同時に、住民にももっと地元を知ってもらい、生まれ育った土地への愛情を持ってもらうことも大切である。そこでふるさと大使を利用した町のPRを提案したい。

**問** ふるさと大使の登用についての見解を伺う。

**町長** 大変有意義な事業であると思うが、本人や所属団体との協議が必要であり、またその方々の本来の活動に少しでも支障があつてはいけないため、慎重にならざるを得ない。

北京五輪カーリング女子で活躍した「口コ・ソラーレ」の地元、北海道北見市のふるさと納税額が大会期間中に前年度比約11億円増3倍増となった。本町出身者にもバドミントンの志田千陽さんなど、世界的に注目されているアスリートが

いる。

**問** こうした方々に関連したふるさと納税の返礼品を用意してはどうか。

**町長** 面白い発想だと思ふ。今年度からサイト制作や新たな返礼品の開拓等を外部委託しているので、実現可能かどうかは別にしても、検討するべきと思つている。

**中学校部活動のこれからは**

本町における部活動は人数不足により練習環境が厳しくなっている。ここ数年、本町含む周辺地域では多くの部活動合同チームが生まれているが、今後も単独チームでは部活動を成立させていくことが困難であると考えられる。本町を含めた周辺地域の中学生は、10年間で100人以上、割合にして1/4の人数が減る見通しである。しかし合同チームにも多くの課題が発生している。

**問** 今後の部活動の在り方とその方向性について、現時点での考えを伺う。

**教育長** 今後は地域移行を念頭に置いて部活動



少人数ながら決勝戦に進んだ八郎潟中女子バスケット部  
しかし最終試合は人数不足により途中棄権に

数を減らしていく方策を計画的に進めたい。合同チームについては、とりあえずは大会に出場できるように進めるしかないと思つている。休日の地域移行や学校が部活動に携わらなくていいような在り方を研究していく。

**再質問** 休日の地域移行について、平日は教員が指導して、休日は外部指導者が指導するケースがイメージされる。子供達にとって一貫性のない指導となり困惑するのではないか。

**教育長** スポーツ庁で出しているもので、平日も地域移行の方向性が出されている。現在ではまだ中体連の見通しが明示されていないため、その方向性を確認

しながら課題解決に向かつていきたい。

**問** 部活動の広域化でも合同チームでも、放課後の生徒の移動に関する問題は大きい。町でバスを出すことはできないか。

**教育長** 福祉バス使用には条件とルールがあるので、日常的な使用は厳しいと予想される。状況を捉えて今後検討していく。

**要望** 部員数が2、3名になる見込みの部活動もある。2、3世帯で日々の送迎をするのは厳しい。行政からのサポートを。

**住宅取得支援制度の導入は**

町内に住宅を取得することとは、経済効果や定住にも効果を発揮する。昨今でも住宅需要に大きな減少は見られていないが、住宅取得者の経済状況は決して余裕があるとは言えず、性能を落とした低コスト住宅の選択が増えている現状もある。

**問** 本町の住宅取得支援の取り組みとその効果は。

**町長** 空き家を購入したうえで住宅リフォーム支援事業を実施しており、町外からの子育て世帯や移住定住世帯への支援を実施している。令和元年度から現在までの実績は1件であるが、事業には一定の効果があるものと考えている。

**再質問** 実績が少ないが現行の事業以上に考えている住宅取得支援策はないのか。

**建設課長** 現時点では考へはない。

住宅ローン金利への関心も高い。政策金融機関が支援しているフラット35には様々な金利引き下げ手段がある。そのうちのひとつが、地方公共団体が住宅取得を支援する、地域連携型と呼ばれるものである。現行制度では最大0.75%もの金利の引き下げが可能となる。住宅取得を後押しする大きな材料になるのでは。

**問** 住宅取得支援としての「フラット35地域連携型」の導入についての見解は。

**町長** 移住定住や子育て支援及び空き家対策など、全町的な施策の検討が必要であるかと考えている。

# 一般質問

## リスタート元年、今後のまちづくりは



小柳 聡  
議員

今年度は新庁舎に生まれ変わった歴史的な年度であり、時をほぼ同じくホームページもリニューアルされ、新たなスタートに感じられる事が多い年度になるうかと感じております。

職員の皆さんが働きやすい環境に変わる事が一番ですが、半世紀に一度あるかないかの出来事でもあり、ハードの整備はほぼ完成した今、これからはソフト、その中でも「ハート」の部分を大切に、行政サービスの更なる向上に向けて職員の皆さんにはより一層の意識



積極的な活用を期待したい役場ロビー

改革をお願いしたい。

庁舎はコンパクトではあるが開放感がありデザイン性にも富んだ建物であると私自身は感じておりますが、改善センターや駅前交流館はちバルが隣接している中で、庁舎をいかにして町民の皆さんに身近に感じてもらうのか。

**問** 隣接施設との機能の住み分け、庁舎を活かす構想やコンセプトを伺う  
**町長** 改善センターは多目的ホールを中心に様々

### ウィズコロナ時代の迎え当町の方針は

未だに「収束の兆しが見えてきた」という言葉を軽々に使うことは出来ませんが、「3年ぶりに開催」といったイベントの解禁情報等も今年度になって増えてきており、社会経済活動の復活が現実味を帯びてきました。

当町においてもオミクロン株の脅威が迫っていた中でも3年ぶりに「願人踊」を祭典の日に披露

な活動や行事に利用されており。また駅前交流館はちバルは八郎潟駅前を情報と交流の拠点と位置づけ、全ての世代がいつでも交流できる図書館を中心とした集いの場であり、屋外スペースも含め各種イベント開催の他中学生や高校生の学習の場等にも利用されている。

役場新庁舎については町民に対する様々な支援やサービスを提供する中核的な公共施設としての役割がある。また行政

することができました。毎年たくさんの方の来町をいただく観光客向けの駅前公演等は自粛する形となりましたが、本来の姿である「門付け」で町内を周りました。そこで感じたのは「この日を待ちわびていた住民がたくさんいた」ということです。

**問** 町で主催するイベントや事業において、今年度実施するものはどのように対応していくのか  
**町長** オミクロン株の特性を踏まえて濃厚接触者の特定や行動制限等については全国的に見直し

活動の拠点として、更には災害時の防災拠点として町民の安全を守る役割や環境への取り組みを先導していく施設としての役割も重要であり、先に述べた施設とは類似しないと考えます。

ロビーは開放的であり外からも見えやすい。通常業務に支障をきたさないように活用できないか例えば出張販売のお菓子屋さんの招聘を企画したら、足を運びなくなる町民も増えるのではと考え

れているが、依然として新規陽性者を減少させ高齢者を中心に重傷化を防ぐことが重要である。一方感染拡大を抑制しながら感染症流行前の社会経済活動を取り戻すことも重要であることから町主催のイベントや事業は感染拡大防止策を講じながら開催する方向で考えている。

子ども達に目を向けるとGWの前には学年閉鎖や休校措置も執られました。

**問** 休校判断にいたってはマニュアルがあるもの

る。キッチンカーを市役所に呼ぶ事例も増えてきている。

**問** そういった活用法も検討してほしい

**総務課長** ロビーの活用に関しては限られたスペースであるので、それが町業務に関して活用できるものであれば検討したいと思います。

**その他**  
ホームページの改善点について質問いたしました。

と認識しているが、保健所からの指導等も総合的に勘案してその判断に至るのか

**教育長** 感染症による休校の判断については児童生徒の実態に応じて、学校と学校医と地教委との共通理解の基に決定する。新型コロナウイルス感染症については特別に保健所の指示・助言もいた

きながら判断する。  
**問** 中学生のワクチン接種率が高かったが、そういったことも休校判断に関わってくるのか  
**教育長** その通りです

# 一般質問

## 休耕地の管理は



石井 清人  
議員

**問** 32区西側に農振農用地内と思われるのですが、農地の一角に盛り土をして草木がぼうぼうのうえに廃車が2台放置されています。そのほか工事用資材も放置されています。付近住民からは野生動物のすみかになっているのではないかと、環境上よくないと苦情が寄せられています。なぜこのようになるのか不可解なことですが、経緯と対策についてお聞きしたいと思います。



休耕地

農地は一度荒れてしまつと、元の状態に戻すのに大きな労力と費用がかかります。こういう現状は改善していか

なければならぬと思います。(草ぼうぼうの田は)まず一つ目は毎年の転作確認で保全管理と届けて確認旗を立てますが、これに丸印をつけないこととです。丸印が付くと役場から認められたと錯覚してしまふからです。二つ目は草刈り指導を行うことです。町あるいは農業委員会から指導文書が届けばそれなりの効果はあると思います。3つ目はシルバー人材センターあるいは環境保全会などが草刈り請負をやれないかと言うことです。有料で刈ることとして所有者に働きかけることです。

**問** 平成29年12月9日に「はちらぼハウス」と「はちらぼ商店」がオープンしました。買い物に行きたいけれど店がなく、買って買物弱者であったと私は解釈しています。そこで町が国の助成を得て買物が出る店を立ち上げたことになって買物ができるようになった。したがって買物弱者はいなくなつた。八郎潟町総合戦略にうたった買物弱者対策事業は完了したものと私は思つて

### 買物弱者対策「はちらぼ」をどう継続するか

たものです。廃車についてはいつころか不明だが誰かが放置したものと考へられる。今後も現状回復に向けて取り組んでいきます。似た事例として夜叉袋地区の農地について当事者と折衝し回復したこともある。農業委員会で農地パトロールを行つて草刈り指導をしている。効果は上がつて

います。

町民の方々とお話をすると日々の食材を毎日買に行つて助かります、という方も結構あります。一方ツルハや薬王堂もできて食料が買えるからはちらぼはいらない、と言う方もあります。さまざまです。でも日々食べるものを買いたいものをするということは生きていく最低限のことですから反対が多いからやめるといふような事業ではありません。しかし3月議会でもありましたように毎年2000万円近い補助金は町民の理解を得るのは難しいと思つています。そこで私はこの後議会内に「はちらぼ調査特別委員会」

の立ち上げを議論したいと思つています。この私の考えについて町長の見解をお伺いします。

**町長** 地元の小売店が廃業するなど買物弱者と呼ばれる買物に不便を感じる方が増えている。はちらぼの調査では400世帯ある。対策としては配食、買物代行、宅配、移動販売、店舗開設、バス・タクシーの運行などが考えられるが、町ではコミュニティバス、デマンドタクシーの運行や

**再質問** 13区町内の(放火)焼け跡を代執行で解体したが付近住民は感謝している。この農地の代執行は考へていないか。  
**農業委員会事務局長** 考へておりません。

る。有料草刈りシステムについては今後検討していきます。



# 一般質問

## 湖東厚生病院の現状と今後は



嶋山 一充  
議員



秋田県で一番高齢者にやさしい病院を目指してほしい

湖東厚生病院の令和2年度収支における運営費について、令和2年度町一般会計決算資料によりますと、湖東厚生病院の収支赤字見込額1億4,497万5,755円、うち運営支援額の2/3を県が1/3を地元4町村が支援しております。令和2年度の県支援額は9,665万円です。本町の場合、収支赤字見込額の1/3に負担率31.4229%を乗じ支援額が1,518万5,205円となります。なお、支援に対しては

県・町村ともに特別交付税措置(8割)となっております。また、JA秋田厚生連は9病院を運営しております。地元4町村と県が合意形成を図り、収支赤字を支援している事例は、湖東厚生病院のみです。

**問** 必要医師数及び医師確保対策の効果と課題について。

**町長** 昨年度から内科医師3名が増員され今年度は、常勤医師9名、常勤嘱託医師1名となっております。医療法に規定される医師充足率は100%を超えております。今後の医師確保としては、さらなる病院機能充実を目指し泌尿器科・循環器内科の常勤医師獲得と患者数の多い整形外科・消化器内科の常勤医師増員を目指しているとのことであります。

**問** 本町における運営費の推移(平成29年度・30年度・令和元年度)及び3町村(五城目町・井川町・大潟村)の負担率と算出根拠について。

**町長** 平成29年度が3,036万8,016円・平成30年度が4,227万3,642円・令和元年度が1,333万5,512円であ

ります。負担割合については、五城目町が約42.6%・井川町が17.6%・大潟村が8.4%であります。なお、負担割合の算定方式については、4町村が負担すべき支援金額を平等割10%・人口割30%・入院外来利用割50%・地元割10%で構成し、それぞれの町村の構成比割合で算出して定め

**問** 公設民営化について。

**町長** 人口減少の進行により、医療ニーズについても今後さらなる減少が予想されます。一方で医療供給体制の維持が求められる中、地域医療の需給バランスを維持していくこと自体が今後ますます困難になると考えられます。2040年の本県人口は60万人台まで減少するとされている中、将来的には病院機能の集約や分化など湖東厚生病院に限らず、より広域的な医療提供体制の在り方を模索する時期となっております。現在のように各地域で個別に医療を支える形は、今後はますます困難になることから公設民営化も視野に行政と医療関係者が一緒に考えていく必要があるものと考え

ています。なお、医師確保・医師偏在についても全県的に共通する課題であり医療提供体制の在り方と一体で広域的に考えるべき課題と捉えております。

化と人口減少が進んでおります。地域農業の将来像を描き農地の集積・集約化を推進する必要があります。

**問** 救急外来の開設について。

**総務課長** 湖東厚生病院では現在、罹りつけ患者の内科診療を中心に救急診療・入院診療を行っております。救急外来機能は、秋田市及び能代市の急性期医療機関で担っていただいております。湖東厚生病院の役割としましては、軽症急性期及び回復期での機能回復の為に入院患者を受入れることとさせていただきます。在宅患者の支援を現在行っている。

**町長** 現在、本町では一日市地区・夜叉袋地区・真坂地区・浦大町地区・川崎地区・小池地区の6つの地区において、人・農地プランが実施化されております。また、圃場一筆毎に耕作者を入れた地図も作成しております。これをもとに農業委員会へ農地の貸し出しの相談があった農業者に対しては、その圃場の一番近くで耕作している人・農地プランに登載された農業者の方が受入れの意志があるかを確認しております。このように、町としても集約化を進めているところでございます。

### 農地の集積・集約化について

本町の農業は、重要な基幹産業と位置づけられており、今後、農地集積化を推進することが望まれます。現状のままだと他町村の農業法人等が参入し、本町の財源(農業所得)は減収となる恐れが生じます。農村部では都市部より早く高齢

化と人口減少が進んでおります。地域農業の将来像を描き農地の集積・集約化を推進する必要があります。

検討してもらいたいとのことですが、国の補助事業の活用を含めて検討して参ります。

一般質問

八郎瀉町脱炭素型社会構築事業は



金 一義 議員

地域脱炭素促進事業とは、地域の自然的社会的条件に応じて、当該地域における社会経済活動その他の活動に伴って発する温室効果ガスの排出量の削減等を行うことである。一方では、地域脱炭素化促進事業における「地域の環境保全の取り組み」も必要で、町村が地域の住民・事業者の意向を十分に把握した上で、地域の環境保全の取組みには省令等に基づき、促進区域を検討する際に必要と判断された環境の保全のための措置を位置づけることが必要とある。今回本町の、構築事業の計画に農業の脱炭素化モデルとして、廃校となった旧八郎瀉小学校周辺公有地において、もみ殻バイオマスボイラーを活用した、イチゴ栽培事業を検討しておりますが、

**問** 令和3年度再生エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジエントな地域社会実現支援事業第1号事業の「1」の補助金を使った今回の計画を立てようとしたのはどこか。「事業者からか、町が独自にか。」

**町長** この度の補助金を活用した事業を行うにあたっては、平成29年度に町が策定した八郎瀉町分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン策定事業がベースになっております。同プランは、町として再生エネルギーを活用した産業振興を進めるためのビジョン並びに具体的なプロジェクトのマスタープランとして策定されたものであります。町が、各種補助事業の情報収集をしたところ、日本環境協会の事業があり、それに応募したものです。

**問** この事業は「地域における再生エネの最大限の導入のため、データに基づく現状把握及び将来推計、地域の将来ビジョンの策定、2050年にかけての再生エネ導入に関する目標ロードマップの策定、具体的な政策・施策の方向性の検討など、再生エネ導入に関する地域のマスタープランの策定を行い、地域全体で合意形成を行うとあり、地域全体の合意形成を今後どのようにしていくのか。

**町長** この事業の採択要件は2050年までの脱炭素社会を見据えて、再生エネルギー導入目標を策定する事業であることが掲げられています。私の考えとしては、事業実施が具現化されれば、周辺住民の皆さんを対象としての説明会も、その前に有識者の意見も聞きながら、こういう事業の進め方について意見を聞きたいと思っております。

**町長** この事業は「地域における再生エネの最大限の導入のため、データに基づく現状把握及び将来推計、地域の将来ビジョンの策定、2050年にかけての再生エネ導入に関する目標ロードマップの策定、具体的な政策・施策の方向性の検討など、再生エネ導入に関する地域のマスタープランの策定を行い、地域全体で合意形成を行うとあり、地域全体の合意形成を今後どのようにしていくのか。

**町長** 本事業は、町の中心地を事業フィールドとすることから、周辺住民への配慮が必要となります。粉状態となっているもみ殻燃料の運搬時の飛散防止対策やバイオマスボイラーの運転音対策、燃焼時の有害物質の排出回避等徹底していくことになり。

**町長** 徹底して対応するとうことは、どういう対応をされるということですか。

**町長** 飛散防止については、散水とか、放水の実施。運転音対策としては建屋内の稼働。有害物質の排出回避については対応可能なプラントの導入。燃焼灰の処理については、農地へのすき込みとか、排水とか、徹底して対策を講じなければならぬと思います。

**町長** 本事業は民間事業者を誘致し、民間実施者による事業を想定している。栽培面積4000平方メートル、反収1000平方メートルあたり6000kg、販売単価kgあたり1,900円と想定している。

**町長** 本事業は民間事業者を誘致し、民間実施者による事業を想定している。栽培面積4000平方メートル、反収1000平方メートルあたり6000kg、販売単価kgあたり1,900円と想定している。

**町長** 本事業は民間事業者を誘致し、民間実施者による事業を想定している。栽培面積4000平方メートル、反収1000平方メートルあたり6000kg、販売単価kgあたり1,900円と想定している。

**町長** 本事業は民間事業者を誘致し、民間実施者による事業を想定している。栽培面積4000平方メートル、反収1000平方メートルあたり6000kg、販売単価kgあたり1,900円と想定している。



校舎と共に活用が検討されている旧八郎瀉小学校西側

活用する上での課題で

# 各常任委員会の審議

## 総務産業 常任委員会

- 補正予算議案 2件
- 陳情 5件

### ◆ 一般会計 補正予算審議

**問** 一般コミュニティ助成について、要望に

対してどの程度採択されるのか。

**答** 1件の申請額が100万円以上でなければ対象とはならない、今年度の対象は以前に要望調査をした各町内会から要望のあった備品について令和3年度と4年度の2カ年で配置するものである。



**問** ふるさとものづくり支援事業の金額の内訳はどのようになっていくのか。

**答** 申請額は82万5千円で、原材料費、ソフトクリーム製造機リース料、委託料、技術指導料、広報費等が含まれております。

### ◆ 上水道特別会計 補正予算審議

**問** 広範囲で火災が発生した際における消火栓の最大使用数の上限は。

**答** 浄水場の処理能力や家庭等での使用も含め計算すると、最大で2基となる。

## 教育民生 常任委員会

- 補正予算議案 2件
- 陳情 1件

### ◆ 一般会計 補正予算審議

**問** 最終処分場の遮水シート修繕について。

**答** 遮水シート上部の継ぎ目部分であり日光があたり劣化したものと思われる。毎月の水質検査で影響は出ておりません。

**問** 青少年劇場小公演の負担割合について

**答** (観覧は) 小・中学生を対象としている。経費のうち町と県が18パーセントづつ負担、残りが法人(主催財団)となっております。

**問** 子宮頸がんワクチンのキャッチアップの告知方法について、厚生

労働省の通知を機械的に送付するのか、それとも自治体の告知方法を追加できるのか。

**答** 通知の中には厚生労働省から出されたりリーフレットを添付している。リーフレットの中は、副反応やワクチンの有効性に関して細かく書かれた内容です。

**問** 子育て世帯生活支援特別給付金は、母子世帯は対象になるか。

**答** それは児童扶養手当などの関係になり県の方で給付する。町が補正予算計上しているのは児童手当受給者で住民税非課税世帯です。



# 広域組合議会報告

## 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会

北嶋 賢子 議員（報告者）  
石井 清人 議員・畠山 一充 議員

去る令和4年3月23日、午後2時から旧八郎潟町役場3階会議室において、令和4年八郎潟町・井川町衛生処理組合議会3月定例会が開催されました。議案に先立ち管理者から前年同期と比べ、し尿・浄化槽汚泥合わせて約9パーセントの減となっており、また五城目町分を含め1日当たり平均処理量は3・92キロリットルであり、と報告がありました。

令和4年度の八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の一般会計予算について、歳入2町の負担が1,941万8千円、五城目町から事業収入が3,489万9千円となっており、歳出は主に汚泥処理委託606万3千円、そして機器整備委託2,900万円、予備費は100万円としております。全会一致で可決されました。

## 湖東地区一部事務組合議会

小柳 聡 議員（報告者）  
伊藤 敦朗 議員・村井 昇 議員

令和4年3月28日、湖東地区消防本部会議室において、令和4年第一回湖東地区行政一部事務組合定例会議が開催されました。

潟上市の議員改選に伴い、役員改選が行われ、議長に井川町の松田弘咲議員、副議長に八郎潟町

の村井昇議員が選任されました。

職員は3名が普通退職となり、3名を4月1日付けで採用する旨の説明がありました。

議案は3議案あり、内2議案が押印の廃止や非常勤職員の育児休業等の取得要件を緩和する条例

の整備でありました。議案第3号 令和4年度一般会計においては歳入歳出総額で6億1,851万円となり、前年度対比では6・72%の減となっております。

歳出の主なもの、人件費が歳出全体の78・2%を占めており、物件費8,377万円、建設事業費1,750万円、公債費2,790万円等の予算が計上され、審議の結果、全会一致で原案通り可決されました。救急出動は、941件の出動の内、八郎潟町は

251件でありました。斎場の使用状況は、505件の使用があり、組合区域外の使用は156件となっております。動物炉の使用は170件となっております。

また5月26日に湖東地区行政一部事務組合議会、全員協議会が開催され、男鹿地区と湖東地区両消防の広域化に向けた常備消防力適正配置調査の報告を受け、メリットや課題を共有し、引き続き今後も検討していくこととしております。

## 八郎湖周辺清掃事務組合議会

京極 幸村 議員（報告者）  
金 一義 議員

令和4年3月24日、八郎湖周辺クリーンセンターにおいて八郎湖周辺清掃事務組合議会3月定例会が開催されました。議案は「令和4年度一般会計予算について」であります。

「令和4年度一般会計予算について」は、当初予算の歳入歳出総額は6億2,820万円であり、前年比5・85%増です。前年比5・85%増です。また公債費元利償還金として1億5,421万3千円を計上しております。満場一致で原案通り可決致しました。

令和4年3月24日、八郎湖周辺クリーンセンターにおいて八郎湖周辺清掃事務組合議会3月定例会が開催されました。議案は「令和4年度一般会計予算について」であります。

万6千円増額していることが主な理由であります。その他、歳出の主なものとして、修繕料として1億4,996万7千円を計上しております。また処理施設運転業務委託として1億6,225万円のほか、各種検査業務、保守点検業務委託など委託料全体で1億9,643万5千円を計上しております。また公債費元利償還金として1億5,421万3千円を計上しております。満場一致で原案通り可決致しました。

## 陳情

| 受理番号 | 受理年月日     | 件名 | 住所      | 氏名  | 件名   | 本会議結果 | 付託委員会 |
|------|-----------|----|---------|---|--|-------|-------|
| 1    | 令和4年3月28日 | 陳情 | 神奈川県大和市 | 女性スペースを守る会-LGBT法案における『性自認』に対し慎重な議論を求める会-山田 響子 外3名 | 女性トイレの維持及びその安全安心の確保についての陳情                               | 採択    | 総務産業  |
| 2    | 令和4年4月11日 | 陳情 | 東京都千代田区 | 海事振興連盟 会長 衛藤征士郎                                   | 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情                       | 採択    | 総務産業  |
| 3    | 令和4年5月6日  | 陳情 | 秋田市     | 秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子                              | 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について | 採択    | 教育民生  |
| 4    | 令和4年5月16日 | 陳情 | にかほ市    | 辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 兵藤 知子                       | 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情                       | 採択    | 総務産業  |
| 5    | 令和4年5月16日 | 陳情 | 男鹿市     | 連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会 議長 太田 修                           | 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情                                | 採択    | 総務産業  |
| 6    | 令和4年5月25日 | 陳情 | 秋田市     | 農民運動秋田県連合会 委員長 小林 秀彦                              | 「水田活用の直接支払交付金」の見直しについての陳情                                | 採択    | 総務産業  |

# 令和4年 八郎潟町議会6月定例会 提出議案結果報告

| 議案番号   | 審議案件                                   | 結果     |
|--------|--|--------|
| 議案第25号 | 令和4年度八郎潟町一般会計補正予算(第2号)について             | 全員賛成可決 |
| 議案第26号 | 令和4年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について       | 全員賛成可決 |
| 議案第27号 | 令和4年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第2号)について          | 全員賛成可決 |
| 議案第28号 | 八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(吉田 義則 氏) | 全員賛成同意 |
| 報告第1号  | 令和3年度八郎潟町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について         |        |
| 報告第2号  | 令和3年度八郎潟町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について  |        |
| 報告第3号  | 令和3年度に放棄した私債権等の報告について(公営住宅使用料)         |        |
| 報告第4号  | 令和3年度に放棄した私債権等の報告について(水道料金)            |        |
| 報告第5号  | 令和3年度に放棄した私債権等の報告について(損害賠償金)           |        |

## 第2回 臨時会 令和4年5月11日開催

### 議案等

- ・八郎潟町町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて ▶▶ **全員賛成承認**
- ・八郎潟町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて ▶▶ **全員賛成承認**

- ・八郎潟町の事務所設置条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて ▶▶ **全員賛成承認**
- ・令和4年度八郎潟町一般会計補正予算(第1号)について ▶▶ **全員賛成可決**
- ・令和4年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第1号)について ▶▶ **全員賛成可決**
- ・工事請負契約の締結について(旧八郎潟町役場庁舎等解体工事) ▶▶ **全員賛成可決**

## 議会全員協議会 令和4年5月11日開催

[協議案件]・八郎潟町脱炭素型社会構築事業について

## 議会全員協議会 令和4年5月31日開催

[協議案件]・6月定例会に提出する議案の主な内容について

## ■議長交際費の支出状況(4月~6月)

◎議長が交際費に要した経費の概要をお知らせします。

| 分類  | 件数 | 金額(円) | 内 訳                           |
|-----|----|-------|-------------------------------|
| その他 | 2  | 8,900 | ・新庁舎竣工式、原水爆禁止国民平和行進秋田県実行委員会拠金 |
| 計   | 2  | 8,900 |                               |

